

**令和 2 年度予算主要事業の概要**  
**(事業別説明資料)**

**病院管理室**



## 目 次

看護人材確保のための学生研修フィールドの提供 .....	1
里山ナース院内認定制度による看護師の育成 .....	2

## 継続 看護人材確保のための学生研修フィールドの提供

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
500	一般財源	500
		雑費 300
		食糧費 150
		消耗品費 50
(前年度予算 400 )		

### 2 事業背景・目的

飛騨市民病院の慢性的な看護師不足対策の一環として、看護系大学と連携し地域の特性である「豊かな自然に恵まれた中で研修が受けられることに加え、医療・介護・福祉のすべてが地域内で完結する環境」を活かした看護学生の地域実習の受け入れをおこないます。

今後も、『地域包括医療・ケアを学ぶ最高の研修フィールド 飛騨市民病院』をキャッチコピーとして、研修を通して市民病院と地域が一体となった最適な研修環境を知ってもらい、卒業後の進路選択やU・Iターンにつながるよう取り組みます。

### 3 事業概要

#### ① 看護学生の研修受入支援 (300千円)

旧研修医住宅を活用して、看護大学生1グループ(学生5名、指導者1名程度)の地域実習として1週間程度の受入れを実施し、受入に要する交通費等について支援します。

#### ② オープンホスピタルの実施 (200千円)

令和元年度に実施し、好評いただいたチーム医療体験を行う「オープンホスピタル」を継続実施し、看護学生に飛騨市民病院を知ってもらう機会をつくります。

#### ③ 大学・専門学校等との連携強化 (ゼロ予算)

J A岐阜厚生連看護専門学校や富山大学医学部看護学科等、近隣の看護教育機関との連携を深め、地域医療を実感できる看護学習フィールドの確立につなげます。

会計	国民健康保険病院事業会計		
所属	病院管理室管理課 TEL0578-82-1150	予算書	P.297

## **継続** 里山ナース院内認定制度による看護師の育成

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
2,000	一般財源	2,000
		旅費 1,000
		広告宣伝費 750
		消耗品費 250
（前年度予算 1,600）		

### 2 事業背景・目的

超高齢化社会の先進地である飛騨市では、医療のみならず介護・福祉・予防との連携が極めて重要であり、退院後も安心して暮らせるよう「地域包括ケア」を推進していますが、その実現には、急性期・慢性期・在宅支援に至るまで質の高いサービスを提供できる看護師の育成が課題となっています。

このことから、平成30年度には、病院内に人材育成プロジェクトチーム（JIPチーム）を設置し、地域包括ケアに必要なスキルを身につけるための育成プログラムや、地域性からイメージされる「里山ナース」のネーミングを用いた飛騨市民病院独自の認定制度の検討をおこなってきました。

令和元年度は、育成プログラムを実行に移し『地域を支える看護』を習得する「1st “SUPER” レベル」の育成と達成者の認定によりスタッフのモチベーションを高め、スキルアップにつなげるとともに、看護職員獲得に向けた採用活動について専用ノベルティグッズを作成して就職セミナー等で訴求を行うなどJIPチームを主体に実施しました。

### 3 事業概要

#### ○ 里山ナース院内認定制度の更なる推進（2,000千円）

令和2年度は、「1st “SUPER” レベル」未修了者の育成と、次段階の『自分を見つめなおす看護』を習得する「2nd “HYPER” レベル」の育成プログラムの展開を進めます。また、平行して里山ナースのキャラクターを使ったノベルティグッズを活用して職員採用活動を推進します。

会 計	国民健康保険病院事業会計		
所 属	病院管理室管理課 TEL0578-82-1150	予算書	P.297